

隠岐空港の概要

「令和7年度」

令和7年 6月 発行

島根県隠岐支庁県土整備局

隠岐空港管理所

目 次

	ページ
1 沿 革	1
2 位 置 と 立 地 条 件	8
3 空 港 施 設 の 概 要	9
4 規 制 空 域	1 2
5 空 港 の 利 用 状 況	
(1) 航 空 機 の 着 陸 ・ 停 留 回 数	1 4
(2) 定 期 便 の 就 航 及 び 旅 客 状 況	1 5
(3) チャーター便の就航及び旅客状況	1 9
(4) 航 空 貨 物 取 扱 状 況	2 0
(5) 航 空 郵 便 取 扱 状 況	2 0
(6) 航 空 燃 料 供 給 量	2 0
6 空 港 灯 火 の 配 置 概 要 略 図	2 1

1. 沿革

隠岐空港は、公共用飛行場として昭和37年11月8日付けで島根県が隠岐郡隠岐の島町(旧西郷町)岬町に1200m×30mの滑走路の空港設置許可を受け、同年12月から工事に着手し、昭和40年3月に完成した。

昭和40年8月1日から航空法第79条但し書き(飛行場以外の場所における離着陸)により開港し、昭和43年7月25日に地方公共団体が設置する第3種空港として供用開始した。

離島の特殊な気象条件下でのより安全な運行を計るため、昭和54年3月に滑走路を1500m×45mに拡張し、昭和60年3月には滑走路灯、飛行場灯台、滑走路距離灯等の航空照明施設を設置した。

空港の管理運営と施設の維持管理のため、昭和40年7月15日に商工労働部所管の隠岐空港管理事務所を開設、昭和46年8月1日に土木部所管の西郷土木事務所隠岐空港管理所となり、昭和52年4月1日に西郷土木建築事務所隠岐空港管理所、平成11年4月1日に隠岐支庁土木建築局隠岐空港管理所の名称変更を経て、平成18年4月1日隠岐支庁県土整備局隠岐空港管理所となった。

開港の昭和40年8月に東亜航空株式会社のデ・ハビランド・ヘロン機(16人乗り)が隠岐―米子間に1日1往復の2便で就航したが、翌年の昭和41年7月には出雲空港が供用開始したのに伴い、隠岐―出雲間に1日1往復の2便を開設したので、1日4便の就航となった。

昭和43年7月からヘロン機に替わりYS-11(64人乗り)が就航し、本格的な航空輸送時代に入り、昭和50年4月からは大阪―隠岐間に直行便1日1往復2便(昭和59年から夏季2往復4便)を開設したので、1日6便(夏季8便)の就航となった。

各路線とも開設以来から冬季は休航していたが、出雲線は昭和57年2月から、大阪線は平成7年2月からそれぞれ通年運航となった。しかし、開港以来33年も就航してきた米子線が平成10年3月から休航となった。

平成15年4月から機材がS A A B(36人乗り)となり通常大阪線2往復4便、出雲線1往復2便の運航となった。大阪線においては、平成16年7月からS A A Bに替わりQ 4 0 0(74人乗り)が1往復2便運航した。

平成15年10月に大阪飛行援助センターの開設に伴い、隠岐空港はR A G空港となり、平成16年3月には大阪航空測候所隠岐航空気象観測所が開所された。

平成18年7月6日には、旧空港の南側に2000m滑走路を有する新隠岐空港が供用を開始し、ローライザーの設置により定期便の就航率が向上した。

夏季の大阪線は、Q400に替わりMD-81（163人乗り）及びMD-90（150人乗り）の小型ジェット機が就航した。

平成24年度から夏季の大阪線は、B737-800（165人乗り）の小型ジェット機が就航した。

平成30年5月7日から大阪線はQ400に替わりERJ170（76人乗り）及びERJ190（95人乗り）の小型ジェット機が就航し、令和元年7月1日より出雲線はATR42-600（48人乗り）がSAABに替わって就航した。

令和2年3月20日に着工したターミナルビル増築外工事（メインロビーの増改築、搭乗待合室の増築、バゲージクレームの増改築、管理棟の増築、旅客通路棟の増築）が令和3年10月22日に竣工した。

令和2年7月30日に着工した隠岐空港ターミナルビル搭乗橋設備工事が令和3年8月10日に竣工した。

沿革表

年月日	内 容
S37. 7. 19	空港の設置許可申請
10. 15	設置許可申請の告示
10. 24	公聴会開催
11. 8	隠岐空港設置許可
12. 16	建設工事着工
S40. 3. 25	隠岐空港完成
	陸上飛行場 第3種F級
	飛行場強度 S I W 6. 5 t
	着陸帯 1, 320m×120m
	滑走路 1, 200m×30m
	誘導路 85m×12. 5m
	エプロン 75m×60m (4, 500m ²)
8. 1	航空法第79条但し書きにより開港 米子—隠岐線開設 東亜航空デ・ハビランド・ヘロン機 (16席) 就航
8. 10	無線施設 (NDB/VHF) の工事完成
8. 18	無線施設 (NDB/VHF) の許可 (電波法第6条) 無線施設 (VHF) の供用開始
8. 20	無線施設 (NDB) の供用開始
S41. 7. 1	出雲—隠岐線開設 東亜航空デ・ハビランド・ヘロン機 (16席) 就航
S43. 5. 15	隠岐空港完成検査申請
7. 8	隠岐空港完成検査合格
7. 11	隠岐空港供用開始期日の届出
7. 16	東亜航空YS—11機 (64席) 就航
7. 24	隠岐空港供用開始期日の告示 (運告第299号)
7. 25	隠岐空港供用開始 (第3種F級 滑走路1, 200m×45m)
11. 8	施設変更許可申請
11. 13	施設変更許可
12. 26	施設変更工事着工
S44. 3. 20	施設変更工事完成
	誘導路拡張及び嵩上げ 85m×18m
	エプロン拡張及び嵩上げ 70m×83m (5, 810m ²)
S44. 7. 1	米子線 YS—11機 1便増 (9月30日まで)
7. 7	施設変更工事の完成検査申請
7. 15	告示した事項の変更 (住所・地名) の告示 (運告第196号)
8. 18	施設変更工事の完成検査合格
11. 11	施設変更の供用開始期日の届出 第3種空港
11. 27	告示した事項の変更 (誘導路及びエプロン) の告示 (運告319号)

年月日	内 容
S45. 7. 1	米子線 Y S—1 1機 1便増 (7月11日まで)
S46. 6.14	航空灯火設置申請
7. 6	航空灯火設置許可
8.18	航空灯火設置工事着工
S47. 2.15	航空灯火設置工事完成 進入角指示灯、滑走路末端識別灯
3.30	航空灯火設置工事の完成検査合格
6.15	航空灯火供用開始期日の告示 (運告第213号)
6.16	航空灯火供用開始
7.21	施設変更申請
9. 5	施設変更許可
9.26	施設変更工事着工
S48. 3.25	施設変更工事完成 滑走路の強度の変更 S I W 6.5 t→8.5 t エプロン拡張 70 m×123 m (8,610 m ²) エプロン強度の変更 S I W 6.5 t→8.5 t
5.15	施設変更工事の完成検査合格
S49. 1.23	施設変更許可申請 (第3種D級 滑走路1, 500 m×45 m)
4.18	施設変更許可申請の告示 (運告第134号)
5.10	公聴会開催
10.28	施設変更許可の告示 (運告第484号) 施設変更工事着工
S50. 4. 1	大阪一隠岐線開設 東亜国内航空 Y S—1 1機就航
S53. 10.31	航空灯火供用休止の告示 (運告第557号)
11. 1	施設変更工事のため空港閉鎖
S54. 3.25	施設変更工事完成 陸上飛行場 第3種D級 着陸帯 1, 620 m×150 m 滑走路 1, 500 m×45 m 誘導路 100 m×18 m エプロン 70 m×165 m (11,550 m ²) (Y S—1 1型機 3バース)
4. 1	隠岐空港供用開始 (第3種D級 滑走路1, 500 m×45 m) 航空灯火供用開始
4. 2	航空灯火供用開始の告示 (運告第181号)
4.19	施設変更工事の完成検査合格
S55. 7.16	大阪航空局隠岐空港出張所庁舎新築工事着工
11.15	航空法施行規則の改正に伴う光度等の変更の告示 (運告第539号)
S56. 1.30	大阪航空局隠岐空港出張所新庁舎完成
2.10	大阪航空局隠岐空港出張所新庁舎の引渡し

年月日	内 容
S57. 10. 14	VOR / DME局舎工事着工
S58. 4. 1	航空灯火変更設置申請
6. 15	航空灯火変更設置許可
8. 18	無線施設 (VOR / DME) 工事着工
11. 24	無線施設 (VOR / DME) 工事完成
11. 27	電源局舎建設工事着工
S59. 1. 11	照明施設設置工事着工
3. 15	無線施設 (VOR / DME) の供用開始
3. 25	電源局舎完成 照明施設設置工事完成 エプロン灯・受電設備・自家用発動発電機
3. 30	滑走路嵩上げ及びグルーピング第1期工事着工
7. 1	大阪一隠岐線 1日2往復に増便
9. 14	航空灯火設置工事着工
11. 30	滑走路嵩上げ及びグルーピング第1期工事完了
S60. 3. 6	航空灯火設置工事完成検査 滑走路灯・飛行場灯台・風向灯・誘導路燈 過走帯灯・滑走路末端灯・滑走路距離灯・障害灯
3. 28	滑走路嵩上げ及びグルーピング第2期工事着工
6. 1	航空灯火設置工事完成検査合格
7. 4	航空灯火変更告示
8. 1	航空灯火供用開始
9. 26	NDB供用廃止
S61. 1. 9	滑走路嵩上げ及び工事 (変更) の完成検査
S62. 3. 25	新ターミナルビル完成
S63. 4. 1	東亜国内航空(株)から(株)日本エアシステムに社名変更
H 2. 7. 20	航空灯火変更許可申請 (VASIS → PAPI)
H 2. 8. 3	航空灯火変更許可
H 3. 2. 12	PAPI工事完成
H 3. 6. 27	PAPI供用開始
H 5. 4. 1	大阪線、(株)日本エアシステムから日本エアコミューター(株)に移管
H 6. 4. 1	米子線、(株)日本エアシステムから日本エアコミューター(株)に移管
9. 1	出雲線、(株)日本エアシステムから日本エアコミューター(株)に移管
H 8. 11. 26	施設変更許可申請 (第3種C級 滑走路2, 000m × 45m)
H 9. 3. 18	公聴会開催
H 9. 5. 6	施設変更許可 (空管第60号) 第3種C級 滑走路2, 000m × 45m
6. 17	航空灯火変更許可申請
7. 18	航空灯火変更許可 (空保第1098号)
H10. 3. 1	米子線、休航

年 月 日	内 容
H14. 3. 29	航空灯火変更許可申請
6. 14	航空灯火変更許可 (国空保第1023号)
H15. 4. 1	大阪線 SAAB340B機 (36席) に就航機材変更 (1日2往復) 出雲線 SAAB340B機に就航機材変更 (1日1往復)
10. 1	国土交通省大阪航空局隠岐空港出張所の廃止 大阪飛行援助センター開設によりRAG空港
12. 25	(主) 隠岐空港線 隠岐空港トンネル開通
H16. 3. 1	西郷測候所隠岐空港分室の廃止 大阪航空測候所隠岐航空気象観測所が開所 気象台から航空気象観測所を受託
3. 26	電源局舎建設工事着工
7. 1	大阪線 DHC-8-402機 (74席) に就航機材変更 (1日2往復)
8. 28	航空灯火工事着工
9. 30	電源局舎完成
H17. 5. 12	隠岐空港ターミナルビル建設 (建築・舗装・設備) 工事着工
12. 1	施設変更届出
12. 15	航空灯火工事完成
12. 20	施設変更工事完成検査申請 航空灯火工事完成検査申請
H18. 1. 31	工事完成検査 地上検査 (2月20日まで)
H18. 3. 7	工事完成検査 飛行検査
H18. 3. 20	隠岐空港ターミナルビル完成
H18. 4. 19	施設変更工事の完成検査合格
H18. 7. 6	空港施設変更供用開始 陸上飛行場 第3種C級 着陸帯 2, 120m×150m 滑走路 2, 000m×45m 誘導路 130m×23m エプロン 205.5m×90m (18, 495㎡) (小型ジェット機 1バース、プロペラ機 3バース)
	大阪線 日本航空インターナショナルMD-81機 (163席) 就航 (8月31日まで)
H19. 7. 14	大阪線 MD-81機就航 (8月31日まで)
8. 11	大阪線 SAAB340B機 1日1往復増便 (8月20日まで)
H20. 6. 18	空港整備法から空港法へ改正 第3種空港から地方管理空港に変更
7. 18	大阪線 MD-81機就航 (8月31日まで)
H21. 7. 17	大阪線 MD-90機 (150席) 就航 (8月30日まで)
8. 10	大阪線 DHC-8-402機 1日1往復増便 (8月20日まで)
H22. 9. 19	MD-81機ラストフライトイベント開催
H24. 7. 27	大阪線 DHC-8-402機 1日1往復増便 (7月29日まで)

年 月 日	内 容
H24. 8. 1	大阪線 ジャルエクスプレスB737-800機(165席)就航 (8月31日まで)
H27. 8. 1	大阪線 日本航空株式会社B737-800機(165席)就航
H30. 5. 7	大阪線 株式会社ジェイエア就航 ERJ170-100機(76席) ERJ190-100機(95席)
R 1. 7. 1	出雲線 ATR42-600(48席)就航
R 2. 3.20	隠岐空港ターミナルビル増築外工事着工
R 2. 7.20	隠岐空港ターミナルビル搭乗橋設備工事着工
R 3. 8.10	隠岐空港ターミナルビル搭乗橋設備工事竣工
R 3.10.22	隠岐空港ターミナルビル増築外工事竣工

2. 位置と立地条件

隠岐空港は、島根半島の北東約40km～80km離れた日本海の真只中にある隠岐群島の内、最も大きな島である島後^{とうご}に設置されている。

その位置は、隠岐の島町（旧西郷町）の中心地からおよそ3km離れた岬半島の先端部にあり、果菜園と松杉の木立が点在する山と海に囲まれた風光明媚なところにある。

滑走路の方向は、ほぼ東西に延びており東側滑走路の末端からは西郷港と町並みを、また西側滑走路の末端に立つと眼下に今津港、はるかに島前の島々を望むことができる。南側は晴天時には秀峰大山、島根半島も眺望できる。

一方、北側には194mの愛宕山を挟んで島の政治経済文化の中心である西郷港周辺が控えている。

3. 空港施設の概要

(1) 空港の名称

隠岐空港

(2) 空港の設置者及び管理者

島根県

(3) 空港事務所とその位置

隠岐支庁県土整備局 隠岐空港管理所

隠岐郡隠岐の島町岬町岬 1 8 8 9 - 1 2

TEL. (0 8 5 1 2) 2 - 0 7 0 3

(4) 空港の種類

陸上飛行場 地方管理空港

着陸帯の等級 C級

(5) 標点の位置

北緯 3 6 度 1 0 分 4 2 秒

東緯 1 3 3 度 1 9 分 2 4 秒

標高 8 0 . 0 0 m (2 6 2 F T)

(6) 滑走路の方位

北 6 7 度 5 3 分 2 6 秒 東 (真方位)

(7) 空港運用時間

午前 9 時から午後 5 時まで

(8) 定期便就航路線

大阪便 1 日 1 往復 2 便 (夏季大型化 : 1 6 5 人乗り)

出雲便 1 日 1 往復 2 便

(9) 空港の規模

*施設の規模

用地面積 9 4 5 , 5 4 1 m²

着陸帯 2 , 1 2 0 m × 1 5 0 m (芝張り)

滑走路 (アスファルトコンクリート舗装)

2 , 0 0 0 m × 4 5 m (滑走路番号 0 8 及び 2 6)

オーバーラン 6 0 m × 4 5 m × 2

ショルダー 7 . 5 m × 2

誘導路 (アスファルトコンクリート舗装)

1 3 0 m × 2 3 m

エプロン (セメントコンクリート舗装)

2 0 5 . 5 m × 9 0 m (小型ジェット 1 バース、
プロペラ機 3 バース)

駐車場 5 , 6 5 3 m²

乗用車 1 8 9 台 (うち思いやり駐車場 4 台)、バス 3 台

* 照明施設

① 飛行場灯火

飛行場灯台	1基	進入角指示灯	8基
滑走路灯	66灯	滑走路中心線灯	66灯
滑走路距離灯	12基	滑走路末端灯	36灯
誘導路灯	36灯	誘導路中心線灯	26灯
過走帯灯	10灯	風向灯	2基
滑走路末端識別灯	4基	旋回灯	9基
進入路指示灯	3基	転回灯	18灯

② 航空障害灯

中光度航空障害灯	3基
低光度航空障害灯	1基

③ その他

エプロン照明灯	5基
---------	----

* 航空保安無線施設

管理者 国土交通省大阪航空局美保空港事務所

運用時間 9:00~17:00

① VOR/DME

(超短波全方向式無線標識施設/距離測定用装置)

周波数	VOR	109.25MHz
	DEM	1116.00MHz

② LLZ/T-DME

周波数	111.55MHz
-----	-----------

③ 管制通信施設

周波数	118.65MHz
	126.20MHz

* 消火施設 (県有)

大型化学消防車 2台

10000L化学消防車	水槽容量	10,500l
	吐出量	5,200l/分

6000L化学消防車	水槽容量	6,100l
	吐出量	4,500l/分

貯水槽 8基 着陸帯 7基

エプロン 1基

(容量 40t/基)

* 建 物

隠岐空港ターミナルビル		
(鉄筋コンクリート+鉄骨) 平屋建て	1,	502.23 m ²
電源局舎		
鉄筋コンクリート平屋建て		609.25 m ²
航空局RAG庁舎		
鉄筋コンクリート平屋建て		150.00 m ²
消防車庫		
鉄骨平屋建て		398.88 m ²
GSE(地上支援機材)車庫		
鉄骨平屋建て		226.63 m ²
旅客通路		
(鉄筋コンクリート+鉄骨) 平屋建て	44.	43 m ²
PBB(パッセンジャーボーディングブリッジ)		1基

* 車両 (県有)

大型化学消防車		
10000L化学消防車	…	1台
6000L化学消防車	…	1台
除雪車両		
除雪トラック	…	2台
スノースイーパー	…	1台
ロータリー除雪車	…	2台
連続式摩擦係数測定車	…	1台
凍結防止剤散布車	…	1台
GSE車両		
高所作業車	…	1台
ASU(エアースタータユニット)	…	1台
トーイングトラクター	…	2台
ベルトローダー	…	1台
バルクカート	…	6台
非自走式パッセンジャーステップ	…	1台
トーイングカー	…	1台
その他		
救急医療作業車	…	1台
パトロールカー	…	1台
パトロールカー(摩擦係数測定用)	…	1台
トラック	…	1台
フォークリフト	…	1台

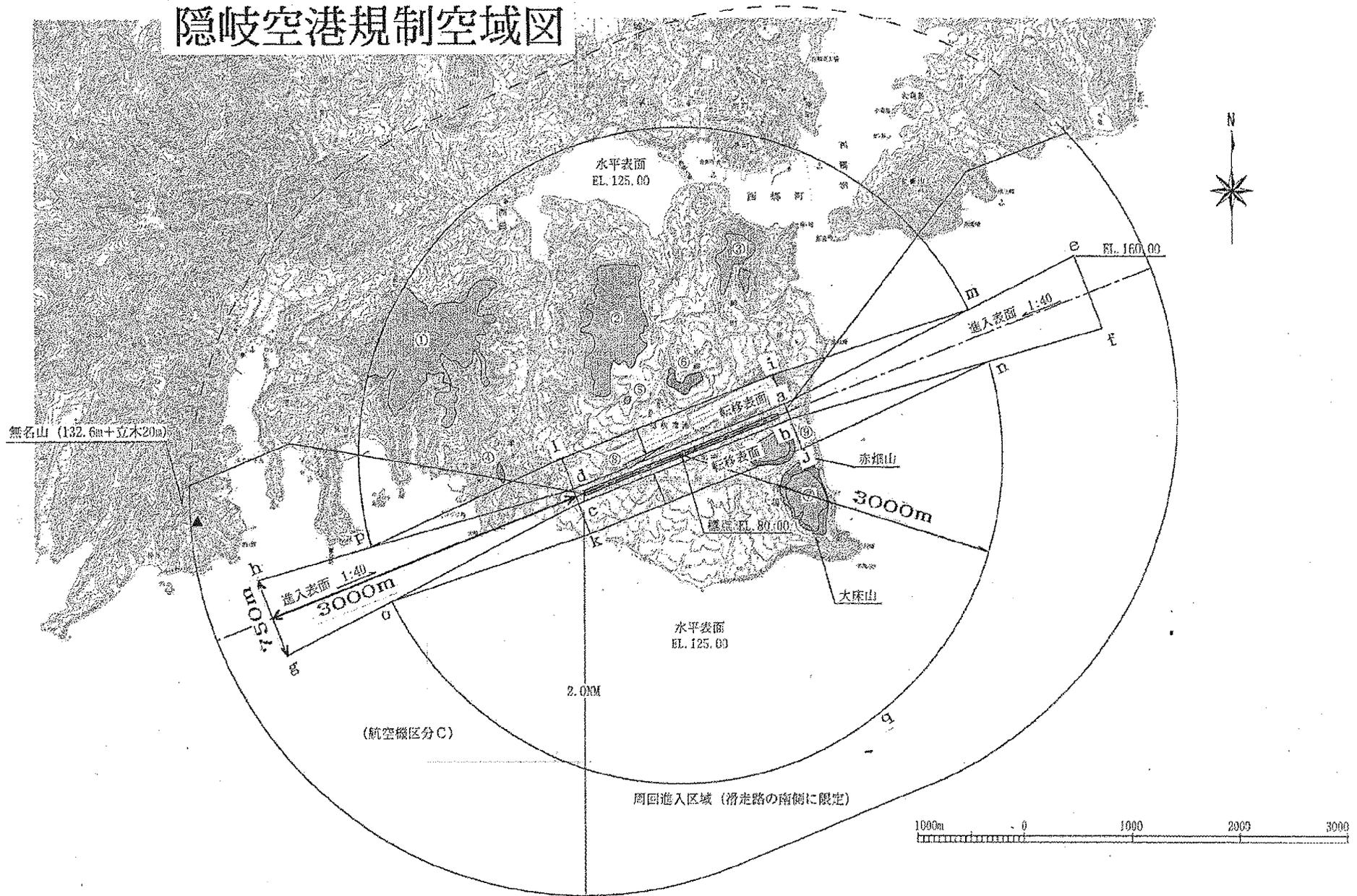
4. 規制空域

空港の設置に伴い、進入表面、転移表面、水平表面等の空域制限が課せられ、これらの表面の上に出る建造物、植物、その他の物件を設置し、植栽し、又は留置することについて規制されることになるが、その範囲は次のとおりである。

隠岐空港規制空域

種類	範囲
進入表面	<p>別図のうち、着陸帯の短辺（a b及びc d）の各辺に接続しそれぞれ外側上方に水平面に対して40分の1の勾配を有する平面であって、その投影面が進入区域と一致するもの。</p>
転移表面	<p>別図のうち、進入表面の斜辺（a e、b f、c g及びd h）を含む平面及び着陸帯の長辺（a d及びb c）を含む平面であって、着陸帯の中心線を含む鉛直面に直角な沿直表面との交線が水平面に対し、進入表面又は着陸帯の外側上方に7分の1の勾配となるもののうち、進入表面の斜辺を含むものと当該斜辺に接する着陸帯の長辺を含むものとの交線（a i、b j、c k及びd l）、これらの平面と水平表面を含む平面との交線（n j、j k及びk o並びに、m i、i l及びl p）及び進入表面の斜辺（a m、b n、c o及びd p）又は着陸帯の長辺により囲まれたもの。</p>
水平表面	<p>別図のうち、飛行場の標点の垂直上方45mの点を含む水平面のうち、この点を中心として半径3000mで描いた円周（qの線）で囲まれた部分。</p>

隠岐空港規制空域図



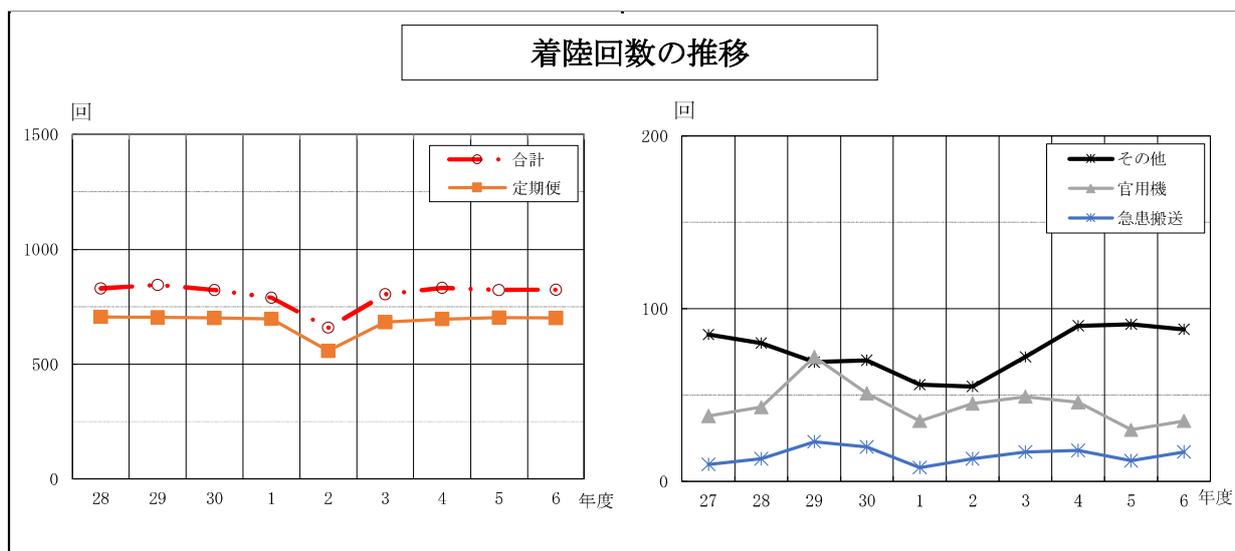
5. 空港の利用状況

(1) 航空機の着陸・停留回数

令和7年3月末現在

年度	着陸回数	内 訳			停留回数	内 訳		
		民間機		官用機		民間機		官用機
		定期便	その他			定期便	その他	
27	836	713	85 「40」	38 (10)	9	0	9 「0」	0 (0)
28	829	706	80 「55」	43 (13)	6	0	6 「0」	0 (0)
29	845	704	69 「32」	72 (23)	15	0	15 「0」	0 (0)
30	822	701	70 「40」	51 (20)	24	4	20 「6」	0 (0)
1	789	698	56 「31」	35 (8)	18	2	16 「8」	0 (0)
2	658	558	55 「23」	45 (13)	25	2	23 「8」	0 (0)
3	804	683	72 「32」	49 (17)	26	0	26 「7」	0 (0)
4	832	696	90 「49」	46 (18)	39	3	36 「19」	0 (0)
5	823	702	91 「33」	30 (12)	30	0	30 「7」	0 (0)
6	824	701	88 「32」	35 (17)	33	1	32 「6」	0 (0)

注 「」はチャーター便の回数、（）は緊急患者輸送（血液輸送含む）を行った回数。



(2) 定期便の就航及び旅客状況

①年度別

令和7年3月末現在

年 度	隠岐・大阪線				隠岐・出雲線				年度計			
	離着陸 回数	就航率	旅客数	利用率	離着陸 回数	就航率	旅客数	利用率	離着陸 回数	就航率	旅客数	利用率
27	714	97.5	36,905	63.3	711	97.1	15,593	59.3	1,425	97.3	53,295	63.5
28	710	97.3	36,330	62.4	702	96.2	16,390	64.0	1,412	96.7	52,698	63.1
29	711	97.4	37,344	64.3	693	94.9	16,368	64.8	1,404	96.2	56,754	68.3
30	707	96.8	36,994	62.4	692	94.8	19,591	78.7	1,399	95.8	56,585	67.2
1	711	97.1	37,782	63.1	684	93.4	21,456	69.9	1,395	95.3	59,238	65.4
2	448	93.3	9,277	26.3	666	91.5	14,535	44.1	1,114	92.2	23,812	34.9
3	692	98.0	15,121	28.0	674	92.3	17,173	53.2	1,366	95.1	32,294	37.4
4	710	97.3	32,383	54.2	682	93.4	22,359	68.3	1,392	95.3	54,742	59.2
5	710	97.0	40,005	67.0	694	94.8	24,593	74.0	1,404	95.9	64,598	69.5
6	706	96.7	42,067	69.8	696	95.3	25,821	77.4	1,402	96.0	67,888	72.5

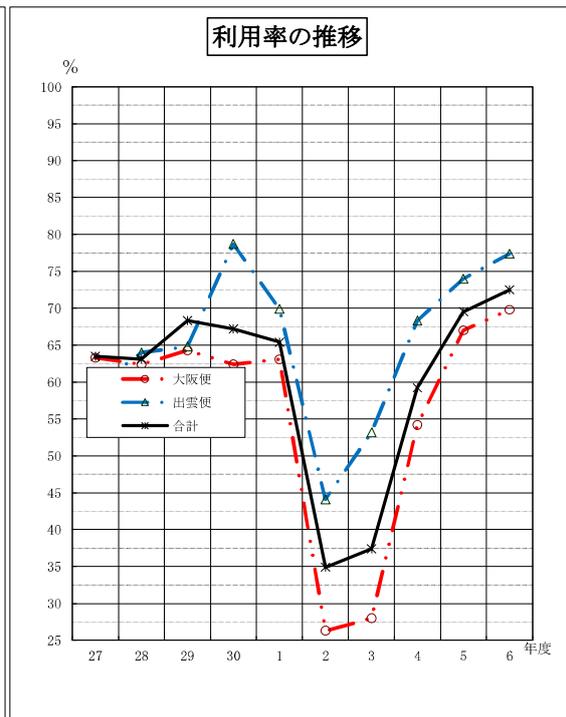
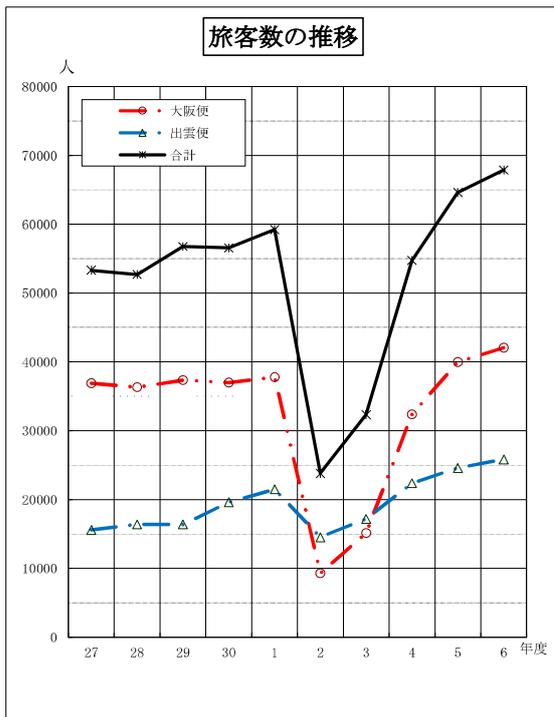
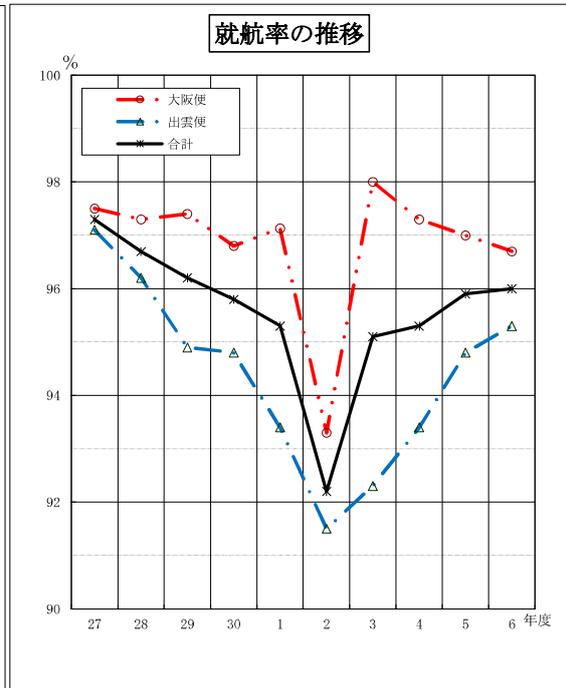
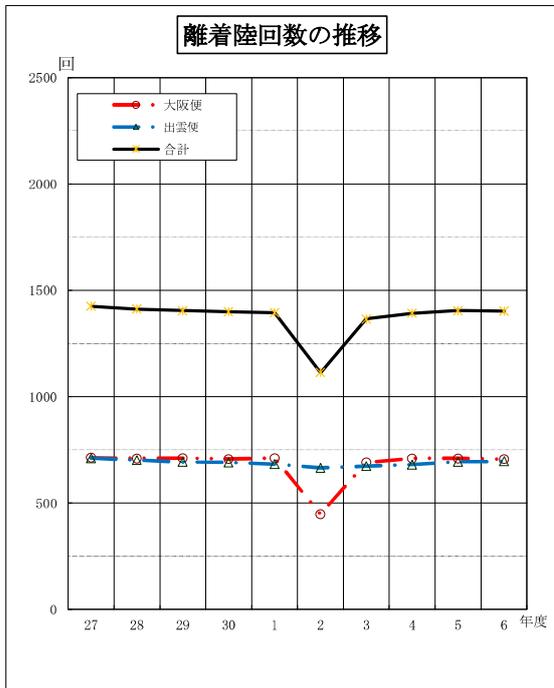
* 定期便の近年の運航状況（平成28年度～）

- [出雲便] 1往復2便 SAAB（36人乗り）
→ ATR42-600（48人乗り）
日本エアコミューター株式会社が運航機材変更（令和元年7月1日～）
- [大阪便] 1往復2便 Q400（74人乗り）
→ ERJ170-100（76人乗り）、ERJ190-100（95人乗り）
株式会社ジェイエアが運航機材変更（平成30年5月7日～）
- (8月) 1往復2便 B737-800（165人乗り）
→ 日本航空株式会社が運航

(2) 定期便の就航及び旅客状況

② 運航状況の推移

令和7年3月末現在

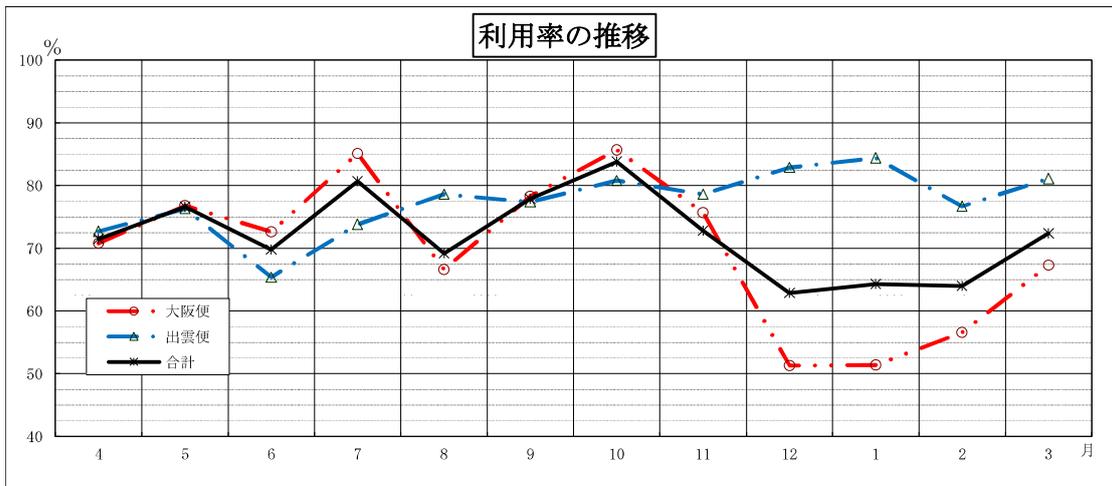


(2) 定期便の就航及び旅客状況

③月別

令和7年3月末現在

月	隠岐・大阪線				隠岐・出雲線				月計			
	離着陸回数	就航率	旅客数	利用率	離着陸回数	就航率	旅客数	利用率	離着陸回数	就航率	旅客数	利用率
4	60	100.0	3,227	70.8	56	93.3	1,955	72.7	116	96.7	5,182	71.5
5	58	93.5	3,708	76.8	62	100.0	2,272	76.3	120	96.8	5,980	76.6
6	58	96.7	3,229	72.6	60	100.0	1,884	65.4	118	98.3	5,113	69.8
7	58	93.5	3,817	85.1	60	96.8	2,124	73.8	118	95.2	5,941	80.7
8	62	100.0	6,813	66.6	60	96.8	2,265	78.6	122	98.4	9,078	69.2
9	60	100.0	3,866	78.3	60	100.0	2,228	77.4	120	100.0	6,094	77.9
10	62	100.0	4,069	85.7	60	96.8	2,328	80.8	122	98.4	6,397	83.8
11	58	96.7	3,335	75.7	58	96.7	2,189	78.6	116	96.7	5,524	72.8
12	62	100.0	2,436	51.3	58	93.5	2,269	82.9	120	96.8	4,705	62.9
1	58	93.5	2,304	51.4	60	96.8	2,430	84.4	118	95.2	4,734	64.3
2	48	85.7	2,064	56.6	44	78.6	1,620	76.7	92	82.1	3,684	64.0
3	62	100.0	3,199	67.3	58	93.5	2,257	81.1	120	96.8	5,456	72.4
計	706	96.7	42,067	69.8	696	95.3	25,821	77.4	1,402	96.0	67,888	72.5



(2) 定期便の就航及び旅客状況

④欠航状況 年度別

令和7年3月末現在

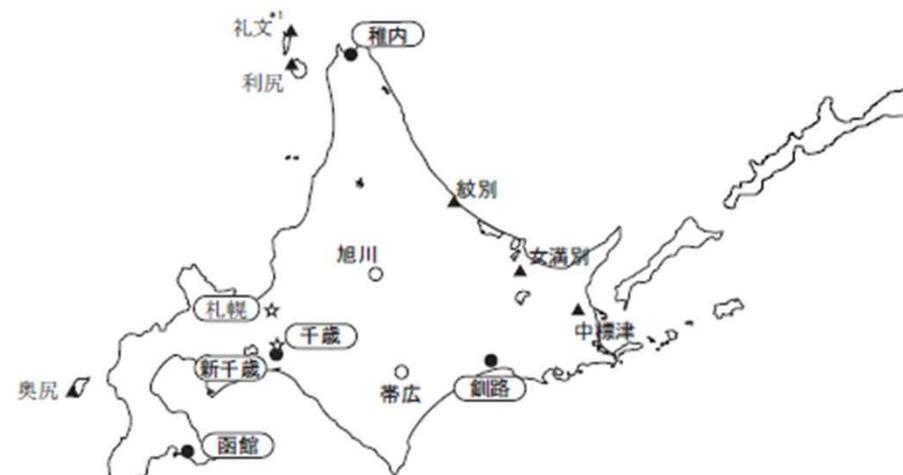
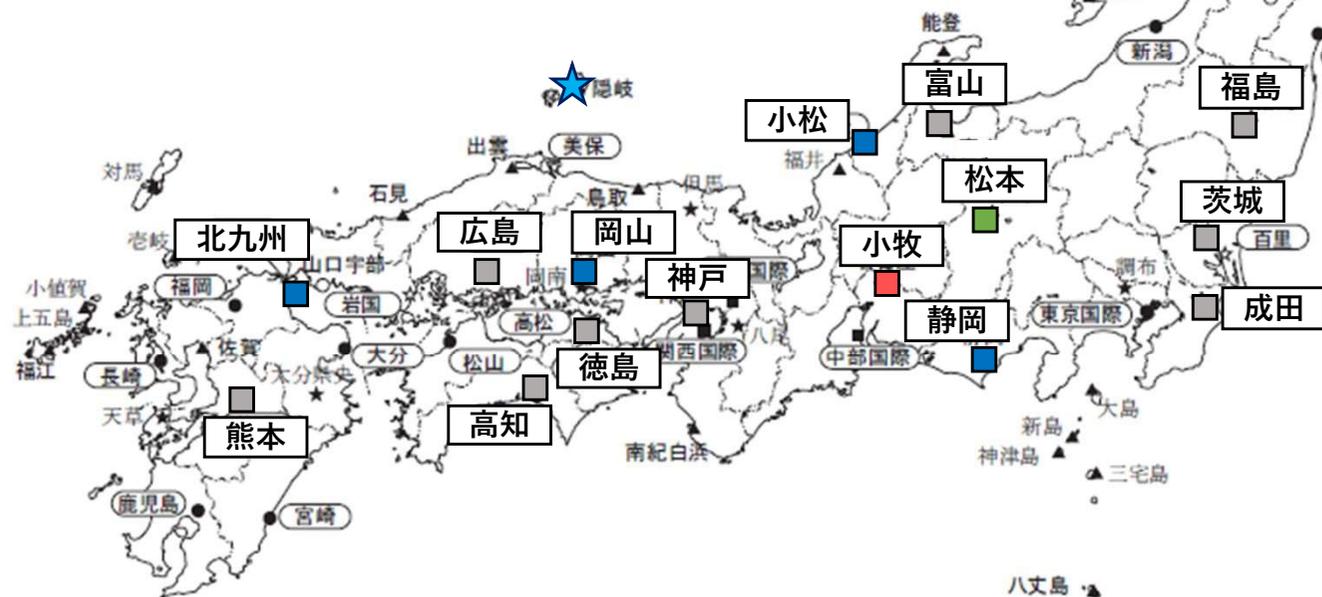
年・月	運航予定回数(回)	欠航回数(回)	欠航率(%)	欠航状況								
				欠航便回数		欠航理由						
				大阪便	出雲便	雲高・不視良程	強風	大雨	雪	他天空候港不良	機材整備	その他
27	1,464	37	2.5	16	21	22	12	0	0	0	2	1
	(比率)			43.2	56.8	59.5	32.4	0.0	0.0	0.0	5.4	2.7
28	1,460	24	1.6	10	14	11	4	0	3	1	5	0
	(比率)			41.7	58.3	45.8	16.7	0.0	12.5	4.2	20.8	0.0
29	1,460	55	3.8	19	36	5	8	0	0	7	9	26
	(比率)			34.5	65.5	9.1	14.5	0.0	0.0	12.7	16.4	47.3
30	1,460	61	4.2	23	38	18	21	0	0	0	16	6
	(比率)			37.7	92.3	29.5	34.4	0.0	0.0	0.0	26.2	9.8
1	1,464	69	4.7	21	48	12	28	6	0	6	10	7
	(比率)			30.4	69.6	17.4	40.6	8.7	0.0	8.7	14.5	10.1
2	1,210	96	7.9	32	64	4	34	4	24	8	8	14
	(比率)			33.3	66.7	4.2	35.4	4.2	25.0	8.3	8.3	14.6
3	1,436	70	4.9	14	56	14	26	8	4	0	12	6
	(比率)			20.0	80.0	20.0	37.1	11.4	5.7	0.0	17.1	8.6
4	1,460	68	4.7	20	48	4	24	4	14	2	6	14
	(比率)			29.4	70.6	5.9	35.3	5.9	20.6	2.9	8.8	20.6
5	1,460	60	4.1	22	38	6	24	6	8	0	6	10
	(比率)			36.7	63.3	10.0	40.0	10.0	13.3	0.0	10.0	16.7
6	4	120	4	3.3	0	4	2				2	
	5	124	4	3.2	4	0	2	2				
	6	120	2	1.7	2	0	2					
	7	124	6	4.8	4	2	6					
	8	124	2	1.6	0	2		2				
	9	120	0	0.0	0	0						
	10	124	2	1.6	0	2					2	
	11	120	4	3.3	2	2		4				
	12	124	4	3.2	0	4					2	2
	1	124	6	4.8	4	2		6				
	2	112	20	17.9	8	12		2		12	4	2
	3	124	4	3.2	0	4			2			2
	計	1,460	58	4.0	24	34	12	16	2	12	4	10
(比率)				41.4	58.6	20.7	27.6	3.4	20.7	6.9	17.3	3.4

(3) チャーター便の就航及び旅客状況 (R6年度)

【運航会社：フジドリームエアラインズ】

	空港名 (着陸回数)	搭乗実績 (座席数84)	搭乗率
■	小牧 (11回)	634	68.6%
■	松本 (3回)	216	85.7%
■	小松、静岡、岡山、北九州 (各2回)	490	72.9%
■	花巻、福島、富山、茨城、成田、 神戸、広島、徳島、高知、熊本 (各1回)	692	82.3%
合計	32回	2032	75.5%

※上記はフェリー便 (乗客なしで運航するもの) を除く
 ※往路のみ記載。実際は、上表の数字の2倍

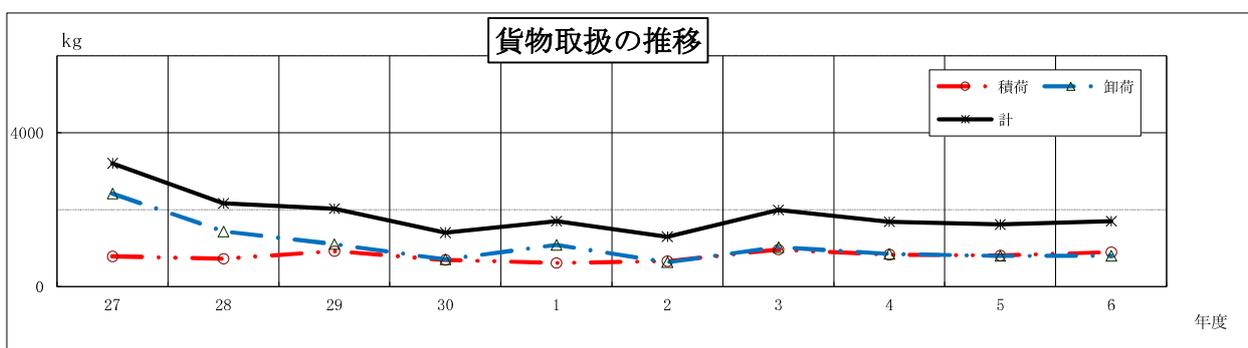


(4) 航空貨物取扱状況

令和7年3月末現在

単位 (kg)

年度	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
積荷	787	731	924	693	618	663	965	833	815	899
卸荷	2,422	1,434	1,106	712	1,084	635	1,030	853	803	805
計	3,209	2,165	2,030	1,405	1,702	1,298	1,995	1,686	1,618	1,704



(5) 航空郵便取扱状況

平成9年10月より休止

(6) 航空燃料供給量

令和7年3月末現在

単位 (ℓ)

年度	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
供給量	211,145	197,249	175,823	161,918	93,883	91,904	95,161	15,624	112,455	105,048

